

(2) 調査結果

1) 調査結果概要

事例名称	事業分野・施設所在都道府県	事業主体	事業特性	調査範囲等
I 金山町まちなみ整備	都市・地域整備(山形)	金山町	改修整備、複合的整備、P1の実施あり、大規模(地域全体へ影響)	 <p>整備された裏道、および公園・広場 アンケート郵送範囲(これまでのまちづくり整備箇所)</p>
<b>調査結果概要</b>				
現地での調査	対象	手法	捉えられた効果	
			意識変化 活動変化 空間変化	
利用者	利用者へのアンケート調査	街並み整備地区内の全691世帯(十日町・七日町・内町・羽場)の全世帯・回収数:249通(回収率36%)	全戸郵送	〇整備された裏道や公園等を、好んで使うようになった 〇整備箇所で、来街者をもてなすお茶会やコンサート、街並み案内、フィールドワークを実施するようになった
	利用団体へのヒアリング調査	①森林組合 ②蔵の会 ③街並み案内人 ④鯉を愛する会 ⑤商工会 ⑥金山大工	ヒアリング	〇地域資源、地域を代表する景観に対する親しみ、愛着 〇金山型住宅に対する誇り 〇増加する来街者に対するもてなしの気持ち 〇裏道や水路がきれいになった(かつての清らかな水路が戻った)
	定点観測調査	整備地区内における平日・土日の利用者	街並み整備地区内での定点観測	(ヒアリング結果と併せて) 〇通勤、通学等での利用 〇散歩や遊び・休息等での利用 〇スケッチ、写真撮影の対象 〇団体ツアー客の見学対象 〇裏道や水路の清掃活動 〇花木の手入れ
行政	行政担当者へのヒアリング	金山町	ヒアリング	〇地元団体の発足・拡大 〇金山型住宅への建替え 〇車庫や工場などの修景
<b>景観整備による効果</b>		<b>具休内容</b>		
意識変化	整備した空間の機能向上に対する認知	・以前は多くのゴミが流れていた水路であったが、整備後には皆ゴミを捨てなくなった ・堰へ鯉を放流してから水がきれいになり、ホテルが見られるようになった		
	造形・施設・空間の印象評価	・(今現在の)金山の街並み(景観)をととても良いと思う ・街並みをとりにくく、周囲の豊かな自然の風景が好きだ ・白壁と切妻屋根の家並みの風景が好きだ ・石積み水路の大堰/めがね堰と、ピンコロ石で舗装されたその脇の小路の風景が好きだ		
	親しみ・愛着	・(今現在の)金山の街並み(景観)に親しみ・愛着を感じる ・金山に住まい始めた当時と比べて、今現在の金山の街並み(景観)の方が親しみ・愛着が強くなった		
	誇り	・(今現在の)金山の街並み(景観)を誇りに思う ・金山に住まい始めた当時と比べて、今現在の金山の街並み(景観)の方が誇りに思う気持ちが強くなった ・「金山大工」の自己の働きに対する誇り、責任感の高まり(「住宅建築コンクール」の開催や、当時のメディア掲載増加を通じて)		
利用者行動に与える効果	その他	・来訪者(視察者・観光客)の増加をきっかけとした、景観・環境等に対する地元住民の意識の高まり ・他地域との交流(羽州街道交流会)を通じた、金山らしさについての認知		
	利用形態・頻度等の変化	・散歩や寄り道のときに裏道を使うようになった ・子どもたちの遊び場としての利用 ・水生動物との触れ合い活動の発生 ・地元住民創作の絵や生け花等の展示		
	商業活動の活性化	・蔵前での「あそら市」の開催 ・公園での「自然祭(じねまつり)」の開催		
	地域活動の活性化	・十日町地区クリーン作戦		
	環境保全、学習活動	・住民・行政の有志による海外視察研修 ・地元小学校における景観教育の実施		
	施設を核とした避難体制の構築	-		
	近隣住民同士の会話の場	・裏道は、近隣住民同士が日常的に花木の手入れや清掃をしながらの会話する場である。同時に、来訪者と地元住民との会話の場でもある ・屋根付き橋「きごころ橋」が、地元住民同士の会話の場となっている		
	利用ルールの形成	-		
	樹木の手入れ・花壇等の設置	・商工会による「花いっぱい運動」の実施 ・住民個人による裏道の緑化		
	清掃等の維持管理活動	・既存の地元団体による、当番制での美化活動の頻繁な実施 ・個人による日常的維持管理活動の実施		
その他	・来訪者が街並みをスケッチ・写真撮影するようになった ・来訪者をもてなす場としての利用 ・新たな地域活動団体の発足(鯉を愛する友の会、蔵の会、街並み案内人の会、Wagestars) ・地域活動団体の活動内容の進展(森林組合による、ストリートファニチャー等の設計デザインの推進、等) ・他地域・他団体との交流・連携(海外視察研修を通じた他の自治体、あるいは類似テーマをもつ地元団体との交流の促進、等)			
施設周辺の空間に与える効果	商業活動の変化	-		
	建物ファサード変化	・裏道に面する箇所の修景(朽ちた納屋への板壁の設え、住宅の色彩変更、等) ・自宅(店舗)を建築・改築したとき、周囲の街並み(景観)に配慮して外観を整備した		
	軒先空間の変化	・水路に面した箇所への植栽の施し ・雑多な生活用品の整理		
	周辺景観の改善	・後年における周辺整備(事業地区内)における類似手法の波及(大堰一めがね堰)		
	周辺施設の連携性の向上	・住まい手が居なくなった家屋の底を開放して裏道同士をつなぎ、誰でも自由に通り抜けられるようにした		
視点場の形成	-			
その他	・「金山型住宅」への建替え			
その他	地場産業の活性化	・地場材の活用 ・地場産業をとりまく技術・人材の活用、育成 ・地場産業に関わるPR活動		
	外部評価の高まり	・来訪者の増加(視察者の増加、観光客の微増、観光ツアー客の来訪) ・外部機関からの表彰 ・マスコミ・メディア掲載の増加 ・居住者の増加、1ターナー者の発生		



## 2) 調査結果の整理

調査結果の詳細は以下の通り。

景観整備による効果	調査結果	調査手法														
① 整備した空間の機能向上に対する認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>水路には、かつてゴミがたくさん流れていたが、整備されてから皆ゴミを捨てなくなった</li> <li>堰へ鯉を放流してから、水がきれいになり、ホテルが見られるようになった</li> <li>公園が整備されてから、子どもを連れて遊びに来る人が増えた</li> </ul>	ヒアリング (地元団体、地元住民)														
意識変化	<p>② 造形・施設・空間の印象評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の金山の街並み（景観）に対する評価「とても良い」「やや良い」（84%）</li> </ul> <div data-bbox="552 645 1241 990" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>金山の街並み(印象)について</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>金山の街並み(印象)について</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても良い</td> <td>34.9%</td> </tr> <tr> <td>やや良い</td> <td>48.6%</td> </tr> <tr> <td>やや悪い</td> <td>4.0%</td> </tr> <tr> <td>とても悪い</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.4%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>「街並みを取りまく、周囲の豊かな自然の風景が好きだ」（70%）</li> <li>「白壁と切妻屋根の家並みの風景が好きだ」（60%）</li> <li>「石積み水路の大堰/めがね堰と、ピンコロ石で舗装されたその脇の小路の風景が好きだ」（43%）</li> <li>「街なかを行き交う小路（裏道）の風景が好きだ」（36%）</li> <li>「街なかに張り巡っている水路の風景が好きだ」（29%）</li> <li>「公園や広場などのオープンスペースの風景が好きだ」（23%）</li> <li>「水路から聞こえる水音が好きだ」</li> <li>現在の街並み（景観）を、金山に住まい始めた当時と比べて「印象が良くなった」（34%）</li> </ul>	評価	割合	とても良い	34.9%	やや良い	48.6%	やや悪い	4.0%	とても悪い	0.8%	どちらともいえない	9.2%	無回答	2.4%	アンケート (N=249)
	評価	割合														
とても良い	34.9%															
やや良い	48.6%															
やや悪い	4.0%															
とても悪い	0.8%															
どちらともいえない	9.2%															
無回答	2.4%															
③ 親しみ・愛着	<ul style="list-style-type: none"> <li>「（今現在の）金山の街並み（景観）に親しみ・愛着を感じる」（84%）</li> </ul> <div data-bbox="552 1451 1241 1796" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>金山の街並み(親しみや愛着)について</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>金山の街並み(親しみや愛着)について</caption> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても強く感じる</td> <td>37.3%</td> </tr> <tr> <td>やや感じる</td> <td>46.6%</td> </tr> <tr> <td>あまり感じない</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>まったく感じない</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>「金山に住まい始めた当時と比べて、今現在の金山の街並み（景観）の方が親しみ・愛着が強くなった」（26%）</li> </ul>	評価	割合	とても強く感じる	37.3%	やや感じる	46.6%	あまり感じない	6.8%	まったく感じない	0.8%	どちらともいえない	6.4%	無回答	2.0%	アンケート (N=249)
評価	割合															
とても強く感じる	37.3%															
やや感じる	46.6%															
あまり感じない	6.8%															
まったく感じない	0.8%															
どちらともいえない	6.4%															
無回答	2.0%															

	<p>④誇り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(今現在の) 金山の街並み(景観)を誇りに思う」(82%)</li> </ul> <div data-bbox="555 264 1241 611" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>金山の街並み(誇りに思う気持ち)について</b></p> <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <caption>金山の街並み(誇りに思う気持ち)について</caption> <thead> <tr> <th>気持ち</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても強く思う</td> <td>31.3%</td> </tr> <tr> <td>やや思う</td> <td>50.2%</td> </tr> <tr> <td>あまり思わない</td> <td>9.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>まったく思わない</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>N=249</td> </tr> </tbody> </table> </div>	気持ち	割合	とても強く思う	31.3%	やや思う	50.2%	あまり思わない	9.2%	どちらともいえない	6.4%	まったく思わない	0.4%	無回答	2.4%	合計	N=249	<p>アンケート (N=249)</p>
気持ち	割合																		
とても強く思う	31.3%																		
やや思う	50.2%																		
あまり思わない	9.2%																		
どちらともいえない	6.4%																		
まったく思わない	0.4%																		
無回答	2.4%																		
合計	N=249																		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「金山に住まい始めた当時と比べて、今現在の金山の街並み(景観)の方が誇りに思う気持ちが強くなった」(26%)</li> <li>・住宅に対する自尊心の高まり</li> <li>・“住宅建築コンクール”の開催や、当時のメディア掲載増加を通じて、“金山大工”の自己の働きに対する誇り、責任感の高まり</li> </ul>	<p>文献</p>																
	<p>⑤その他 (景観やまちづくり、環境等に関する意識の高まり/地域らしさの認知)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(裏道の整備を通じた)住民の“裏”への意識の向上</li> <li>・来訪者(視察者・観光客)の増加をきっかけとした、景観・環境等に対する地元住民の意識の高まり (→各種美化活動の進展、もてなしの場の創出、街並み案内の開始、住民・行政の有志による海外視察研修)</li> <li>・他地域との交流(羽州街道交流会)を通じた、金山らしさについての認知</li> </ul>	<p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p>																
<p>利用者行動に与える効果</p>	<p>①利用形態・頻度等の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩や寄り道のときに裏道を使うようになった</li> <li>・子どもたちの遊び場としての利用</li> <li>・水生動物との触れ合い活動の発生</li> <li>・地元住民創作の絵や生け花等の展示</li> <li>・地元住民演奏のコンサート開催</li> </ul> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>■公園の四阿で読書する親子</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>■大堰で鯉と触れ合う家族</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>■広場で遊ぶ子どもたち</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>■地元住民によるコンサート</p> </div> </div>	<p>アンケート (N=249)、 ヒアリング (地元団体)</p>																
	<p>②商業活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵史館前での“あおぞら市”の開催(4-5月) (地元特産品の販売等。東北近県から来客)</li> <li>・公園での“自然祭(じねんまつり)”の開催(6月) (苗木の無料配布、食品販売、等)</li> </ul>	<p>ヒアリング</p>																

<p>③地域活動(イベント・行事)の活性化</p>	<p>[街並み全体に関わる地域活動]          ・十日町地区クリーン作戦(毎年6月実施)          [堰・水路に関わる地域活動]          ・冬季における鯉の冬囲い、雑魚(ざっこ)祭りの開催</p>	<p>ヒアリング (地元団体)</p>
<p>④環境保全、学習活動</p>	<p>・住民・行政の有志による海外視察研修          ・地元小学校における景観教育の実施(3年生、総合学習・国語・図工、年間10時間)</p> <div data-bbox="563 450 1206 898"> </div> <p>(国交省 HP 「景観まちづくり教育」より：  <a href="http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/gakushu/data2/ji_rei_all.pdf">http://www.mlit.go.jp/crd/townscape/gakushu/data2/ji_rei_all.pdf</a>)</p>	<p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p>
<p>⑤施設を核とした避難体制の構築</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>⑥近隣住民同士の会話の場</p>	<p>・裏道は、近隣住民同士が日常的に花木の手入れや清掃をしながらの会話する場となっている。それと同時に、来訪者と地元住民との会話の場ともなっている          ・屋根付き橋“きごころ橋”が、地元住民同士の会話の場となっている</p> <div data-bbox="563 1240 1230 1480"> </div>	<p>定点観測</p>
<p>⑦利用ルールの形成</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>⑧樹木の手入れ、花壇等の設置</p>	<p>・商工会による“花いっぱい運動”の実施          ・住民個人による裏道の緑化          ・来訪者による裏道の緑化</p> <div data-bbox="552 1682 1251 1921"> </div> <p>■商工会“花いっぱい運動” ■個人による裏道の緑化</p>	<p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p>

	<p>⑨清掃等の維持管理活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の地元団体による、当番制での美化活動の頻繁な実施 (例：A. 雪解け後の全町清掃作業、B. 十日町地区における毎年6月のクリーン作戦、C. 盆前および初冬の堰・水路の点検・清掃、D. “組”による毎月の公園等の清掃、鯉へのエサ遣り、E. 若妻会・婦人会・老人会・若連・育成会による公園等の清掃（各会の連携）、F. 職員組合、G. スポーツ団体、H. 学校単位での団体、I. 地域の消防団、等)</li> <li>個人による日常的維持管理活動の実施</li> </ul>	<p>ヒアリング (地元団体)</p>
	<p>⑩(スケッチや写真撮影等の対象としての利用/来訪者のもてなしの場としての利用/回遊経路の延長/地域活動団体の活動の発展)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者が街並みをスケッチ・写真撮影するようになった</li> </ul>  <p>■公園に佇んでスケッチ ■観光客による記念撮影</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者をもてなす場としての利用 (蔵史館、きごころ橋、公園の四阿等における抹茶接待)</li> <li>回遊経路の延長</li> <li>新たな地域活動団体の発足 (鯉を愛する友の会、蔵の会、街並み案内人の会、Wage stars)</li> <li>地域活動団体の活動内容の進展 (森林組合による、ストリートファニチャー等の設計デザインの推進) (地元住民と行政とによる海外視察研修の毎年の実施)</li> <li>団体規模の拡大 (鯉を愛する友の会：S63 発足当時6名→現在42名)</li> <li>他地域・他団体との交流・連携 (地区と森林組合とが連携した、清掃等の地区作業の推進) (婦人連合会と商工会、茶道愛好会とが連携した、毎週末における来訪者へのお茶出し) (町へ進出した企業の経営陣の、町内団体・組織・活動への積極的参加) (海外視察研修を通じた他の自治体、あるいは類似テーマをもつ地元団体との交流の促進) (他地域の大学生との交流：山形大学「農山村地域づくり」のフィールドワークの場として)</li> </ul>	<p>定点観測</p> <p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>ヒアリング (事業者 [金山町]、 地元団体)</p> <p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p> <p>ヒアリング (地元団体)</p> <p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p>
<p>施設周辺の空間に与える効果</p>	<p>①商業活動の変化</p> <p>②建物ファサード変化</p> <p>③軒先空間の変化</p> <p>④周辺景観の改善</p>	<p>—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>裏道に面する箇所への修景（朽ちた納屋への板壁の設え、住宅の色彩変更、等）</li> <li>「自宅（店舗）を建築・改築したとき、周囲の街並み（景観）に配慮して外観を整備した」（87/120名）</li> <li>水路に面した箇所への植栽の施し</li> <li>雑多な生活用品の整理</li> <li>「自宅（店舗）の外周り（庭、水路、倉庫、塀・柵など）を整備したとき、周囲の街並み（景観）に配慮した」（56/85名）</li> <li>後年における周辺整備（事業地区内）における類似手法の波及（大堰→めがね堰）</li> </ul>	<p>文献 アンケート</p> <p>文献 アンケート</p> <p>文献</p>

<p>⑤周辺施設の連帯性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まい手が居なくなった家屋の庭を開放して裏道同士をつなぎ、誰でも自由に通り抜けられるようにした</li> </ul> 	<p>定点観測</p>
<p>⑥視点場の形成</p>	<p>—</p>	
<p>⑦その他 (建物の形態の変化／休憩施設の設置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“金山型住宅”への建替え (町から助成を受けて建てた新しい金山型住宅：53軒 ※昔からの伝統的な金山型住宅：44軒)</li> <li>・裏道同士をつなぐ私有地に、地場材のベンチを設置</li> </ul>	<p>文献、 定点観測、 ヒアリング (地元団体) アンケート (N=249)</p>
<p>①地場産業の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場材（金山杉）の活用 (商工会建築部会による、地場材を用いたファニチャーの創作) (町内の全公共建築の建設における地場材の活用) (「花環境整備事業」を通じた、地元生産農家の安定した花木の供給)</li> <li>・地場産業をとりまく技術・人材の活用、育成 (主要産業の林業と住宅産業等の関連産業の活性化を図った施策の策定・推進“グリーンコンビナート構想”) (地場工法による住宅を対象とした“住宅建築コンクール”の開催を通じた、“金山大工”等の人材活用・育成) (HOPE計画の推進を通じた、林業と地元工務店との良好な関係性の構築→有限会社の設立、ビジネス展開) (森林組合によるストリートファニチャー等の設計デザインを通じた、地場材の活用におけるスキルアップ) (首都圏などの大市場への参入) (他県への地場材住宅の指導)</li> <li>・地場産業に関わるPR活動 (商工会による、関連パンフレット作成・製品販売促進) (製作元・価格等を記した地場材製品の設置)</li> </ul>	<p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p> <p>文献、 ヒアリング (地元団体)</p> <p>定点観測、 ヒアリング (地元団体)</p>
<p>②外部評価の高まり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者の増加 (視察者の増加) (観光客の微増：近年9万人/年程度) (観光ツアー客の来訪)</li> </ul>  <p>■仙台からのツアー客の来訪</p>	<p>文献、 ヒアリング (事業者 [金山町]、 地元団体)、 定点観測</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関からの表彰 ((社)経済同友会「第1回美しい都市づくり賞」昭和60年度、建設省「手づくり郷土賞」平成4年度、(社)日本建築学会「日本建築学会賞」平成14年度、等)</li> </ul>	文献
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスコミ・メディア掲載の増加 (“住宅建築コンクール”の実施をきっかけとして) (→地場材による住宅建設に関する注文・問合せの殺到)</li> </ul>	文献
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住者の増加、Iターン者の発生</li> </ul>	ヒアリング (事業者 [金山町]、 地元団体)

3) 効果の波及フロー

■金山町のまちなみ景観整備による効果の波及フロー

